

# 第8回日本 Tweed 研究会大会 プログラム

ORTHODONTIST'S NAME \_\_\_\_\_ CODE \_\_\_\_\_  
I = TWEED COURSE INSTRUCTOR, M = TWEED MEMBER, A = APPLICANT FOR MEMBERSHIP

## DIFFERENTIAL DIAGNOSIS AND CLINICAL ANALYSIS

PATIENT'S FIRST NAME \_\_\_\_\_ INI \_\_\_\_\_ LAST NAME \_\_\_\_\_

BEGIN TX. AGE \_\_\_\_\_ SEX \_\_\_\_\_ BIRTHDAY \_\_\_\_/\_\_\_\_/\_\_\_\_ TREATMENT TIME \_\_\_\_\_

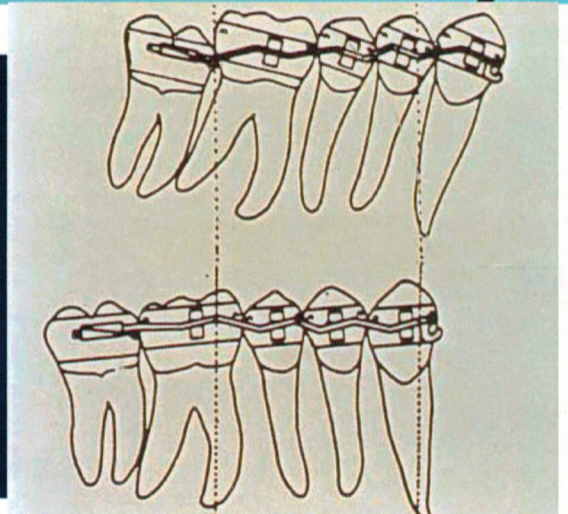
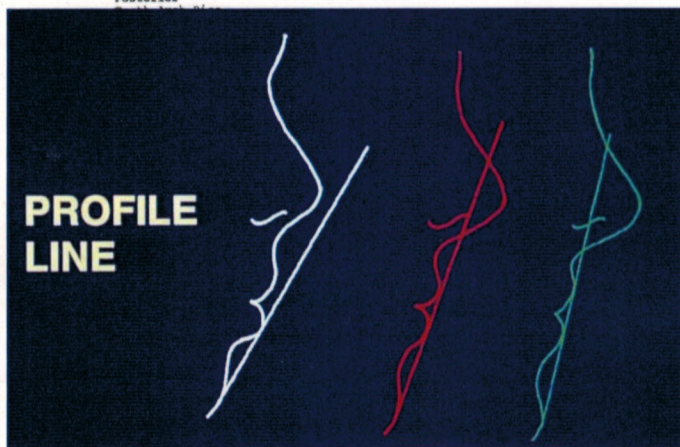
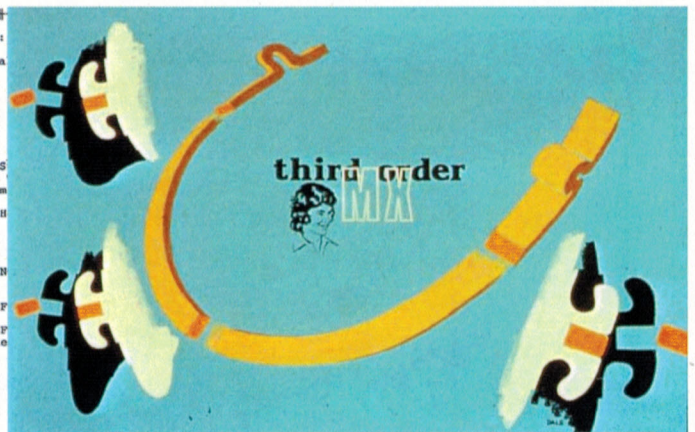
DATE	TREATMENT TIME					READOUTS: START 7 6 5 5 6 7 U L
	NORMAL	PRE-TX	PROGRESS	FINAL	POST-TX	
FMA	67					FINISH U L DIAGNOSIS: A. Skeleta B. Dental C. Perio D. Facial E. Habits 1.Thumb S 2.Tongue 3.Bruxism F. Joint H
FMA	25					
IMPA	88					
SNA	82					
SNB	80					
ANB	2					
AO-BO	2mm					
OCC PLANE	10					
Σ ANGLE	75					
UPPER LIP						
TOTAL CHIN						
POST. FACIAL HT.	45mm					
ANT. FACIAL HT.	65mm					
FAC. HT. INDEX						
FAC. HT. CHANGE	XXXXXXXX					
MAND. CUSPID WIDTH						
MAND. MOLAR WIDTH						

### CRANIAL FACIAL ANALYSIS

	Ceph. Value	Difficulty Factor	Difficulty
Normal Range			
FMA 22-28		5	
ANB 1-5		15	
S-ANGLE 70-80		2	
OCC.PLANE 8-12		3	
SNB 78-82		5	
PFH/AFH 0.65-0.75		3	
<b>TOTAL C.F. Difficulty Total</b>			

### TOTAL SPACE ANALYSIS

	Difficulty Factor	Difficulty
Anterior		
Tooth Arch Disc.	1.5	
Headfilm Disc.	1.0	
Soft Tissue Mod	0.5	
<b>Total</b>		
Mid Arch		
Tooth Arch Disc.	1.0	
Curve of Spee	1.0	
<b>Total</b>		
Horizontal Occlusal Disharmony (Class II or Class III)	2.0	
<b>Posterior</b>		



日時：2009年8月29日(土) 14:00~  
30日(日) ~12:00

会場：箱根 山のホテル

## 会長あいさつ

日本 TWEED 研究会も第 8 回総会を迎えることになりました。これも日頃からの会員の先生方の協力とご支援のおかげと感謝しております。

世の中、不況、不況と大騒ぎしておりますが本部の TWEED STUDY COURSE は一昨年からアメリカの矯正家の受講生が増えて、春、秋とも 120 名の定員で一杯とのこと、そこで今年は 6 月に臨時コースを開催し、受講待ちの学生の解消を図ったところ、それまでに満員になってしまったそうです。

エッジワイズ法といってもいろいろありますが、多くは患者のニーズや経済優先で改良された派生的なもので基本的なスタンダード・エッジワイズである TWEED を理解せずに進展しないことに気づいてきたのでしょう。そんなことで、今回の特別公演は教育の基本をスタンダード・エッジワイズに置いている日大の清水典佳教授ならび、アンカレッジにインプラントを取り入れた本吉満准教授の二人をお願いいたしました。ご期待ください！



日本 Tweed 研究会会長  
中久木正俊 先生

### 特別講演 1

#### 矯正専門教育におけるスタンダードエッジワイズ治療の概念と治療ゴール

近年、矯正歯科医の力量の格差が指摘され、学会でも矯正学卒業後教育のレベルアップと標準化を推奨しており、矯正教育機関としての施設基準を明瞭にすることで矯正研修機関を認定した。研修機関としての大学教育は矯正歯科医の資質向上に直接かかわるため、その役割は大きく、社会的責任も大きい。

矯正治療の教育現場では、どのような症例でも良好な結果に導ける実力を有した、質の高い矯正医を継続して輩出する必要がある。そのためには矯正治療法の基礎を十分習得し、自分自身の問題解決能力を向上させる教育が必要であるが、十分な教育がなされていない研修機関も多いと言う。本学の臨床教育現場では、スタンダードエッジワイズ法を用いたツィードメカニクスによる治療法を実践しているが、この治療法では、刻々と変化する歯や歯列の位置関係を観察することで、装着するアーチワイヤーのオーダーバンド量、ワイヤーから歯に加わる矯正力、歯の移動方向、移動量等をイメージでき、エッジワイズ法の基本を理解し問題解決能力を向上するためには、最適の治療法であると確信している。このメカニクスを基本に各種の矯正装置を組み合わせることで、多くの症例に対応できる幅広い教育を行っているつもりである。

一方、治療現場では、矯正医の治療に関する概念の違いから、治療法はおろか治療のゴールでさえコンセンサスを得られないことが多く、まことに残念なことである。このような背景は患者の混乱や矯正治療の不信感を招き、ときには医療訴訟に発展することもある。このような問題は、矯正治療が社会的に高いステイタスを得られない大きな理由であると考えられる。

本講演では、ツィードメカニクスを含めたスタンダードエッジワイズ法による治療例を供覧させていただきながら、矯正教育現場や、治療現場における問題点や今後の対策を検討していきたいと考えている。



日本大学歯学部歯科矯正学講座  
教授 清水典佳先生

### 特別講演 1

#### 「ミニインプラントを用いた矯正歯科治療 —安全確実な植立と効率的な歯の移動—」

最近、チタニウム・ミニインプラントやアンカープレートを固定源として利用した新しい矯正治療が普及している。これらのミニインプラントを口蓋や唇頬側歯槽骨に設置することにより、絶対不動の固定源が得られ、患者の協力性に頼ることなく、良好な治療結果を容易に得ることが可能となった。

しかし、ミニインプラント植立後の安定性は必ずしも十分とはいええず、矯正治療中にミニインプラントの動揺や脱落を経験することがある。そこでミニインプラントの脱落に関する研究が多く行われ、その脱落の原因として、埋入部位の骨質、ミニインプラントの形状や埋入後の感染、過大な矯正力、骨の成熟度や皮質骨の厚さ、および埋入時トルクなどが大きく関与することが明らかになってきた。今回はこれらの研究成果を考慮した最も安全で確実な植立方法について検討する。その一方、不正咬合の病態を診断し、ミニインプラントの埋入位置を適切に判断する必要がある。そこで効率的な歯の移動を行うための埋入部位の選定やメカニクスの選択について、臨床例を挙げながら考察する予定である。



日本大学歯学部歯科矯正学講座  
准教授 本吉 満先生

self dr. / @ / pile 10/25/17 / 本吉 満

# 第8回日本 Tweed 研究会大会 プログラム

2009年  
8月29日(土)

座長・司会

14:00 開会の辞

中久木正俊

14:05 会員発表

山村しげみ

- 最新の Tweed fellow membership examination -

朝井寛之先生

本目祥人先生

高橋滋樹先生

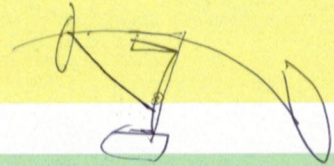
飯島重樹先生

16:30

16:45 展示症例検討会

(フリーディスカッション)

18:30



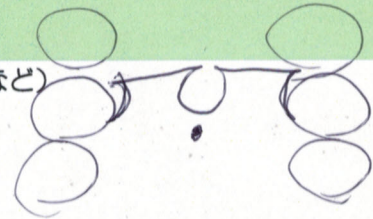
18:45 懇親パーティー

(ビュッフェスタイル) 2008 イタリアミーティングの報告 (藤崎臣弘)

20:45

以後フリータイム (二次会、温泉、症例検討など)

夕食 →



8月30日(日)

8:15 総会

藤崎臣弘

8:30 会員発表

14年間 Tweed Merrifield 法で治療した患者の臨床結果の分析と評価  
長谷虎峰先生

松原 進

9:15

9:30 特別講演1

河合 悟

矯正専門教育におけるスタンダードエッジワイズ治療の概念と治療ゴール

日本大学歯科矯正学講座 清水典佳先生

特別講演2

「ミニインプラントを用いた矯正歯科治療—安全確実な植立と効率的な歯の移動—」

日本大学歯科矯正学講座 本吉 満先生

12:00 閉会の辞

稲毛滋自

右 → 遠心  
左 → 心

の感じ: 心 → 遠心

感謝 挨拶!!

ご挨拶

11月 5~10 まで

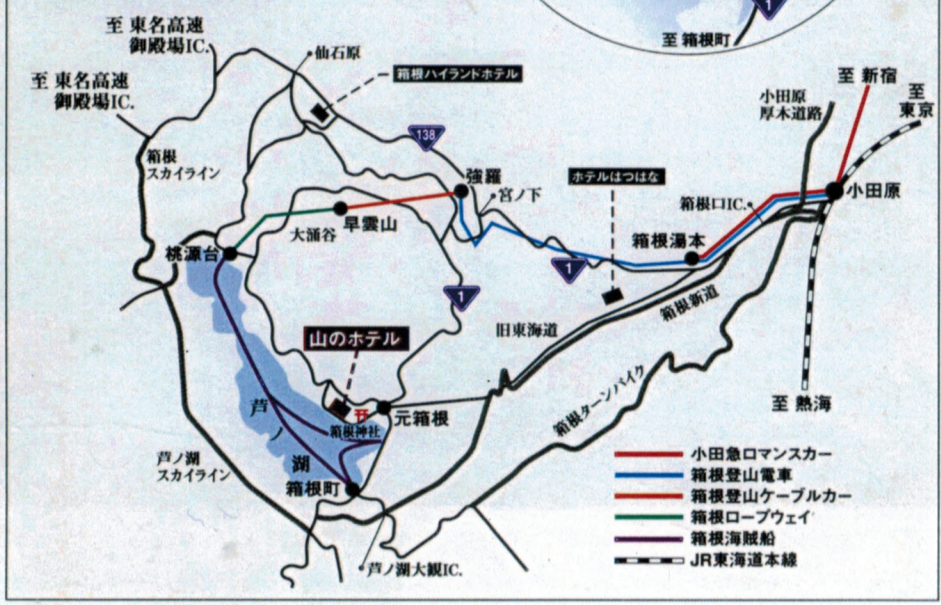
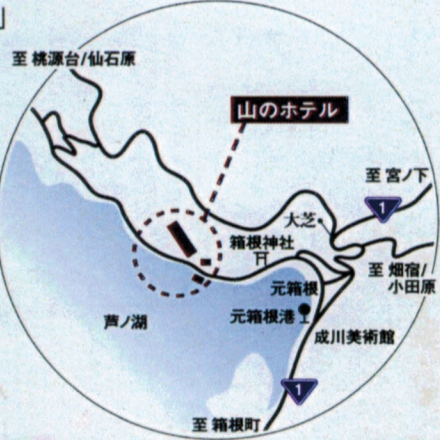


# HÔTEL DE YAMA

HAKONE LAKE SIDE

- 「小田原駅」・「箱根湯本駅」から「箱根町」  
または「元箱根港」行き箱根登山バス  
で「元箱根港」下車
- 「元箱根港」より送迎バス有り
- 「新宿駅西口」より小田急箱根高速バスで  
「箱根小田急山のホテル」下車(終点)
- 小田原厚木道路より箱根新道經由  
「芦ノ湖大観IC.」

	バス	車
小田原より	60分	30分
箱根湯本より	40分	20分
東名高速 御殿場IC.より	40分	
箱根新道 芦ノ湖大観IC.より	10分	



〒250-0522 神奈川県足柄下郡箱根町元箱根80  
 TEL. 0460-83-6321 FAX. 0460-83-7419  
[www.odakyu-hotel.co.jp/yama-hotel/](http://www.odakyu-hotel.co.jp/yama-hotel/)

箱根地区セールス

TEL.042-749-1114 FAX.042-767-1013

